

アゴダの調査によると、リピーターが多い国・地域のランキングで、日本が第一位であることが判明

再訪が多い旅先は、日本、タイ、ベトナム、マレーシア、韓国

2024年8月27日

デジタル旅行プラットフォーム「アゴダ」を運営するAgoda Company Pte. Ltd.（本社：シンガポール、CEO:オムリ・モーゲンシュターン）の最新の調査によると、日本がアジアの中で最もリピーターが多いことがわかりました。調査に参加した、アジアの10ヶ国・地域の4,000名を越えるアゴダユーザーの内、32%の旅行者が日本を再訪しており、続いて12%の旅行者がタイ、10%の旅行者がベトナムを再訪しています。



一方、日本人リピーターに関する調査結果では、77%の日本人旅行者がお気に入りの旅行先を再訪していることがわかりました。再訪している国・地域は、順に、韓国、タイ、台湾、ベトナム、インドネシアという結果でした。

過去10年間のお気に入りの旅行先への訪問回数では、36%の旅行者が1回～3回であり、34%はなんと10回以上も同じ場所を訪れていることがわかりました。

旅の目的についての質問では、23%の日本人旅行者は「家族や友人と過ごすこと」が主な目的と回答しています。次いで「グルメ体験」(19%)、「アドベンチャー(自然・文化体験)」(17%)の順という結果でした。

アゴダ® 北アジア統括アソシエイト・バイスプレジデント 大尾嘉宏人は、次のように述べています。

「世界の様々なところを旅する旅行者もいれば、お気に入りの場所を何度も再訪する旅行者もいます。アゴダのリピーターランキング調査を見ると、日本人旅行者にとって、韓国、タイ、台湾は単なる訪問地以上のものであり、当地での旅行体験を何度も楽しみたいと思わせる、格別の旅行先であることがわかります。アゴダでは、これらの場所へのご旅行を充分にお楽しみいただけるよう、数々の宿泊施設やフライト、アクティビティをご用意しています。当地へのご旅行が初めてでも、もしくは10回目だとしても、アゴダはそれぞれのご旅行をお手伝いいたします」

なぜお気に入りの場所を再訪したいのか、その理由を問うと、「旅行がしやすい」「地元グルメ」「行きやすい場所」との答えが多く寄せられました。また、約3割の日本人旅行者は「現地費用の安さ」を理由にあげています。

再訪の理由
1. 旅行がしやすい (49%)
2. 地元グルメ (48%)
3. 行きやすい場所 (31%)
4. 前回行ってよかったから (30%)
5. 現地の費用が安い (29%)

アジア全体の視点で調査を見ても、「旅行がしやすい」がトップで、実に44%のアジアの旅行者がお気に入りの旅行先への再訪の理由としています。

休暇にぴったりの450万軒以上のホテルに加え、アゴダ プラットフォームでは13万路線以上のフライトと30万種類以上のアクティビティも提供しており、これらをすべて組み合わせて一つの予約に入れ込むことができます。アゴダは幅広いサービスを提供し、お客様がお得な情報を見つけ、お気軽にパッケージを予約するための理想的なオンライン旅行プラットフォームです。

データに関して

リピーターランキング調査は、アゴダ プラットフォームにおいて2024年8月1日から8月19日の間に10ヶ国・地域、4,000名以上の参加で行われました。(調査対象: インドネシア、インド、日本、韓国、マレーシア、フィリピン、シンガポール、台湾、タイ、ベトナム)

アゴダ®について

デジタル旅行プラットフォームであるアゴダでは、世界中450万軒以上のホテルやバケーションレンタルに加え、航空券やアクティビティなどの様々な旅行商品をお得な料金でご提供し、世界をおトクに旅するお手伝いをしています。アゴダのウェブサイト Agoda.com およびモバイルアプリが39ヶ国語でご利用いただける他、カスタマーサポートは年中無休・24時間体制でご対応しています。

Booking Holdings (Nasdaq: BKNG) 傘下の企業であるアゴダは、シンガポールの本社を中心に世界25ヶ所の拠点で6,900名以上のスタッフによって運営されており、日々、業界屈指のテクノロジーを駆使して、より便利な旅行予約サービスの開発・提供に尽力しています。

ウェブサイト: <https://www.agoda.com/>